

和歌山労災病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。また、研究への拒否の意志を表示されても、いかなる場合でも不利益をこうむることはありません。

研究課題名	Pembrolizumab による治療を行った転移性尿路上皮癌の予後予測因子の解明 ー多施設共同後方視的観察研究ー
当院の研究責任者 (所属)	泌尿器科 部長 鈴木淳史
他の研究機関および 各施設の研究責任者	和歌山県立医科大学 泌尿器科 助教 出口龍良
本研究の目的	近年、各領域における悪性腫瘍病変に対する薬物治療として、様々な免疫チェックポイント阻害剤の適応範囲が拡大しており、従来の細胞障害性抗癌剤に加えた新たな選択肢として注目を集めています。2017年12月、転移性尿路上皮がん(膀胱がん、腎盂がん、尿管がん)において、PD-1阻害剤である Pembrolizumab (キイトルーダ) が保険収載され、当院でも適応患者様への投与を行っています。しかしながら、薬剤の治療効果は患者様の状態およびがんの病勢の影響を受けるため、すべての患者様で十分な治療効果を得られる訳ではありません。このような背景から「Pembrolizumab (キイトルーダ) に適した患者様はどのような方か? また投与する際にどの程度の治療効果が期待できるのか?」を治療開始前に明らかにすることは、治療方針の決定や患者様へのインフォームド・コンセントを行う上で、非常に重要な情報になります。本研究の目的は、過去に Pembrolizumab (キイトルーダ) を投与した転移性尿路上皮がん(膀胱がん、腎盂がん、尿管がん)の患者様の情報を基に、上述した治療効果・予後予測因子を明らかにすることを目的としております。
調査データ該当期間	2018年1月1日から2022年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料・情報等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者様 2018年1月1日から2022年3月31日までの間に転移性尿路上皮がん(膀胱がん、腎盂がん、尿管がん)に対し、Pembrolizumab (キイトルーダ) の投与を受けた患者様。 ●利用する試料・情報 年齢、性別、BMI、既往歴、日常生活自立度、血液検査結果、画像検査結果、悪性疾患に関連する情報(臨床学的病期、病理組織診断結果)、治療内容、治療成績です。
試料/情報の 他の研究期間への提供 および提供方法	多施設共同研究であり上記の他の研究機関・研究責任者へ提供
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。